

東京応化工業株式会社 決算説明資料

-2015年3月期決算-

2015年5月11日

目次

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1.2015年3月期連結決算 | p.2 |
| 2.2016年3月期通期連結決算予想 | p.12 |
| 3.tok中期計画2015の取組み | p.19 |
| 4.資本政策に関して | p.28 |

**2015年3月期
連結決算**

業績概要

(百万円、%)

	2014/3	2015/3		
			増減	増減率
売上高	75,269	88,086	+12,817	+17.0
営業利益	10,025	13,253	+3,227	+32.2
経常利益	12,269	14,443	+2,174	+17.7
当期純利益	7,549	8,818	+1,269	+16.8

- 期中平均為替 (USドル) : 99.3円/ドル (2014/3) ⇒ 109.3円/ドル (2015/3)
- 売上高 : 装置事業は3期ぶりの増収を確保、材料事業の好調から、修正予想 (2014.10.29公表) を上回る増収を確保。
- 営業利益 : 減価償却費が増加する中、材料事業の増収効果、装置事業の収支改善等から、修正予想を上回る増益。過去最高益を更新。
- 当期純利益 : 営業利益の大幅増益から、前年に続き最高益を更新。

営業外損益・特別損益

(百万円)

	2014/3	2015/3	前年比
営業外損益	2,243	1,190	△1,053
(営業外収益)	(2,503)	(2,174)	△329
受取利息・配当金	309	229	△79
為替差益	1,391	1,459	+68
(営業外費用)	(259)	(983)	+724
デリバティブ評価損	—	460	+460
租税公課	187	4	△182
新工場関連費用	—	496	+496
特別損益	△603	△141	+461
(特別利益)	(291)	(650)	+359
退職給付制度改定益	—	622	+622
関係会社清算益	172	—	△172
(特別損失)	(894)	(792)	△101
減損損失	856	665	△191
固定資産除却損	25	114	+89

事業別セグメントの業績

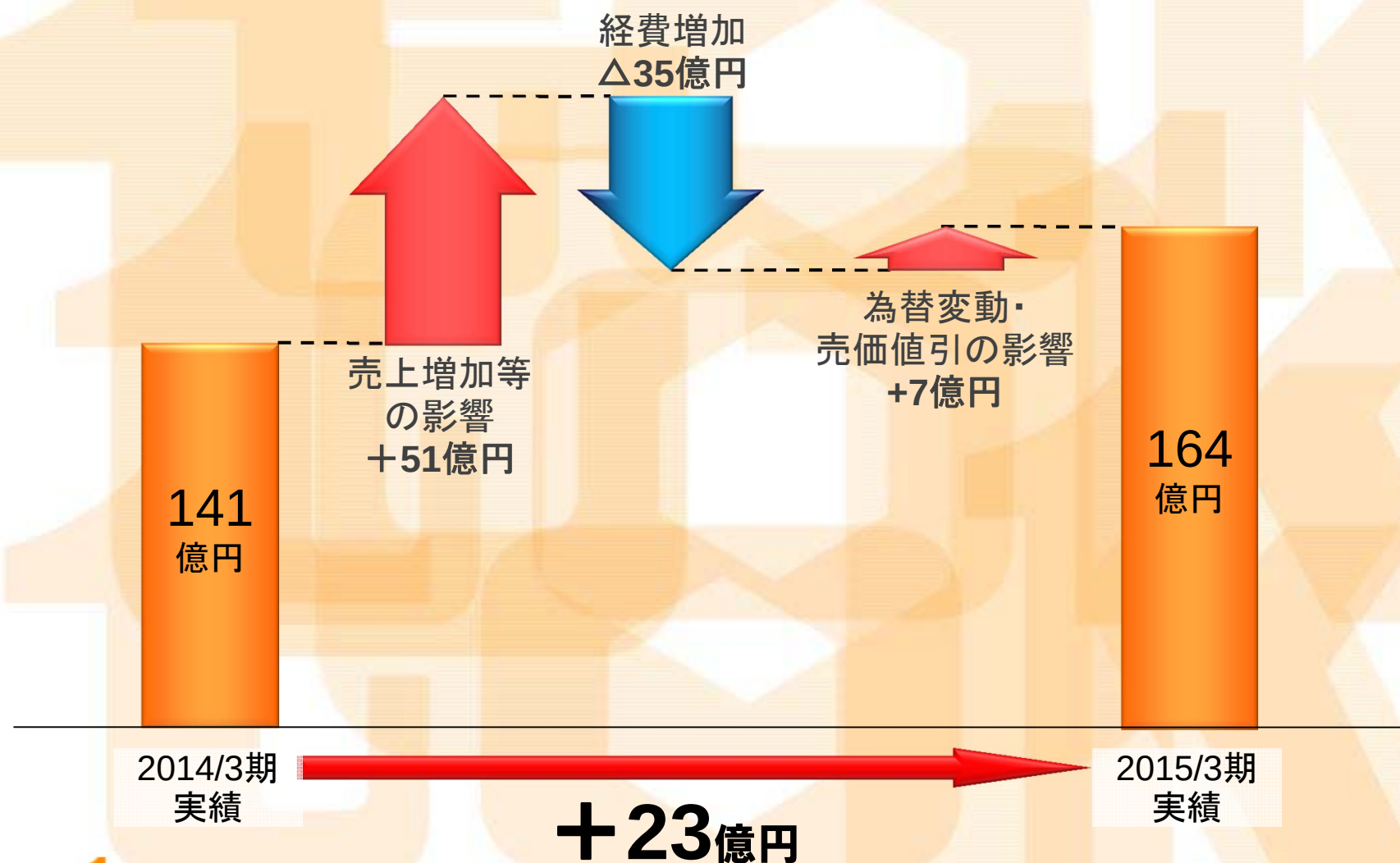
(百万円、%)

	2014/3	2015/3		
			増減	増減率
売上高	75,269	88,086	+12,817	+17.0
材料事業	72,866	84,611	+11,744	+16.1
エレクトロニクス機能材料	43,261	49,818	+6,556	+15.2
高純度化学薬品	29,194	34,844	+5,650	+19.4
その他	410	△52	△463	—
装置事業	2,402	3,475	+1,072	+44.7
営業利益	10,025	13,253	+3,227	+32.2
材料事業	14,086	16,355	+2,269	+16.1
装置事業	△889	20	+909	—
消去又は全社	△3,171	△3,122	+48	—

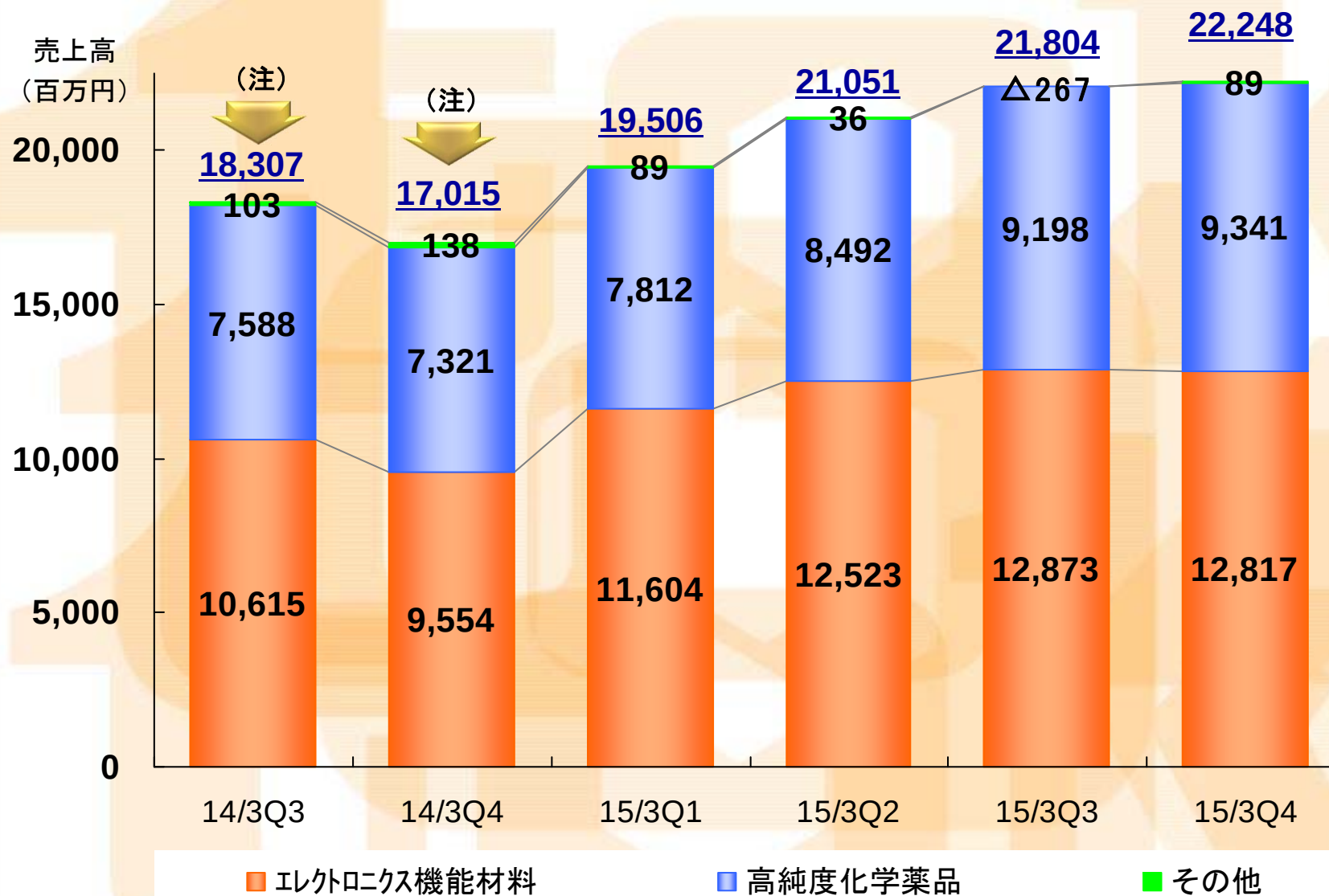
(注) 装置事業の売上は消去後の数字。

営業利益の増減内訳（材料事業）

2014年3月期実績 対 2015年3月期実績



材料事業の売上内訳

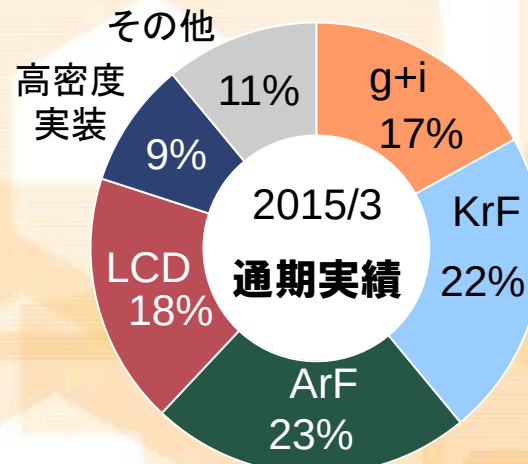
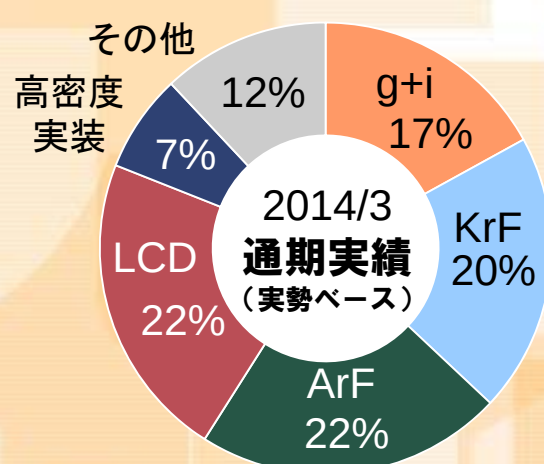


(注) 韓国子会社の営業開始に伴い、販路を一部変更しております。

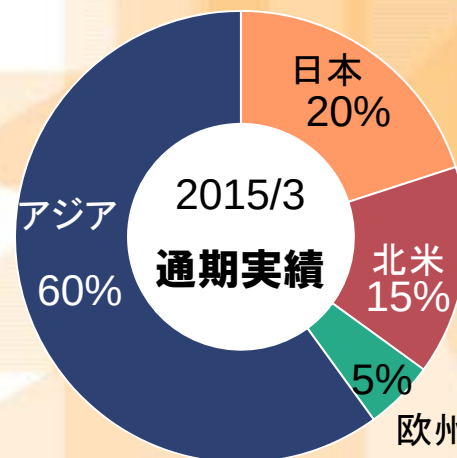
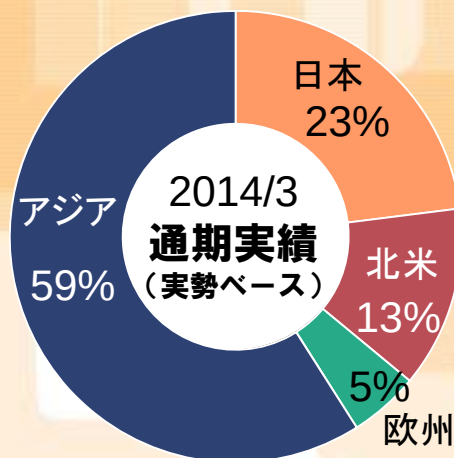
東京応化工業株式会社と子会社間の決算期の違いから、14/3 Q3・Q4の売上高にマイナスの影響が出ております。

（ご参考）エレクトロニクス機能材料部門

エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成

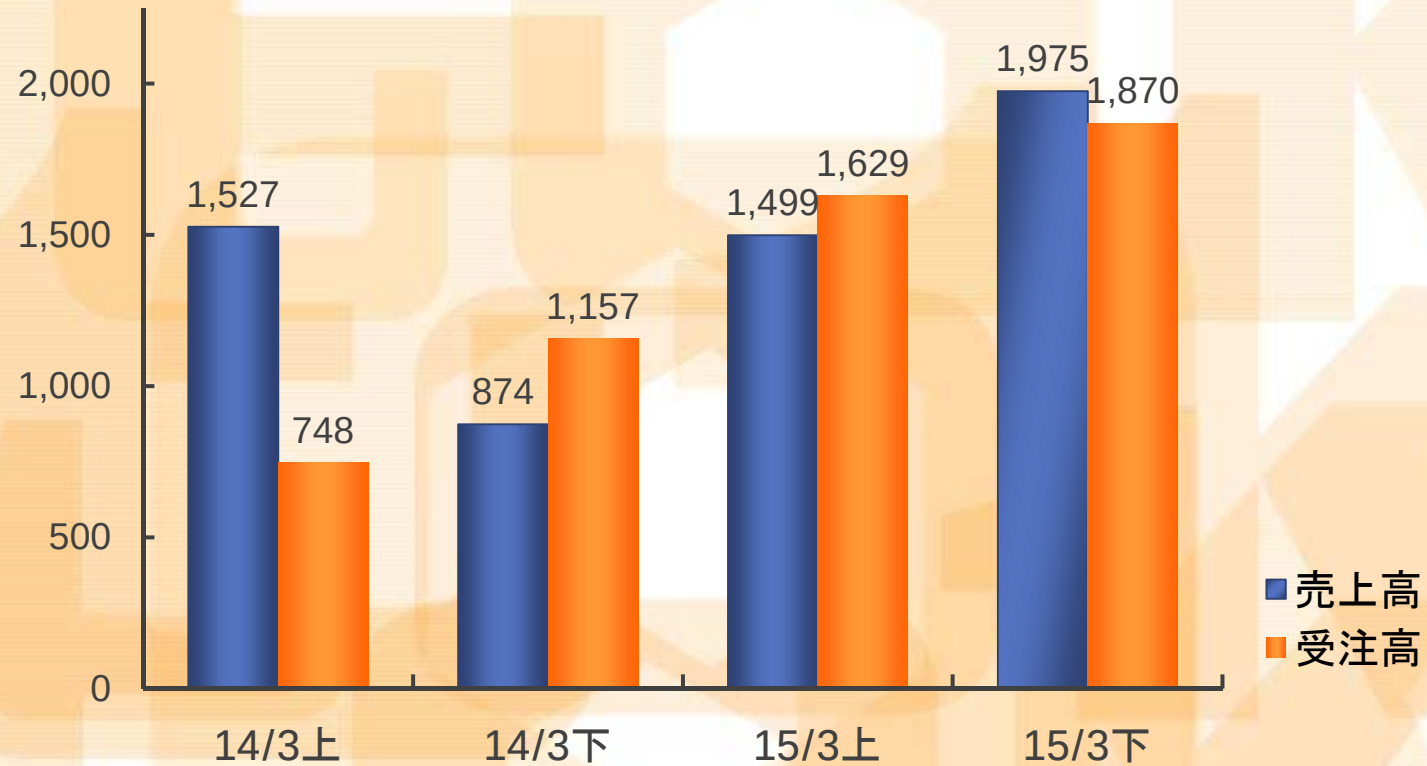


半導体フォトレジストの地域別売上構成



装置事業

売上高・受注高
(百万円)



(百万円)	14/3上	14/3下	15/3上	15/3下
期末受注残高	769	1,051	1,180	1,072

(注) 装置事業の売上は消去後の数字。

比較貸借対照表

(百万円)

	2015/3	14/3末比
流動資産	91,054	+7,806
現金預金	53,967	+595
売上債権	19,422	+2,798
たな卸資産	11,555	+1,109
有形固定資産	49,371	+4,794
無形固定資産	934	+284
投資その他の資産	33,503	+6,118
流動負債	19,295	+4,917
買入債務	9,797	+4,053
固定負債	3,569	+2,050
純資産合計	151,999	+12,036
総資産	174,863	+19,004

建物及び構築物	+1,814
機械装置	+10,683
工具器具備品	+576
土地	+191
建設仮勘定	△8,471

利益剰余金	+6,338
自己株式	+96
その他有価証券評価差額金	+1,471
為替換算調整勘定	+2,877

キャッシュフロー

(百万円)

	2014/3	2015/3
営業キャッシュフロー	+11,881	+13,577
税金等調整前当期純利益	+11,666	+14,301
減価償却費	+2,672	+4,276
貸倒引当金の増減(△)額	△925	△94
売上債権の増(△)減額	+720	△2,119
たな卸資産の増(△)減額	+1,018	△368
仕入債務の増減(△)額	△449	+3,121
前受金の増減(△)額	△652	△692
法人税等の支払い	△2,583	△3,935
投資キャッシュフロー	△14,491	△10,197
財務キャッシュフロー	△2,471	△2,110
換算差額	+1,058	+1,138
現金及び現金同等物の増減(△)額	△4,023	+2,408

主な内訳
有形固定資産の取得 △7,052
投資有価証券の取得 △2,284

主な内訳
配当金の支払 △2,651
(含む少数株主)

**2016年3月期通期
連結決算予想**

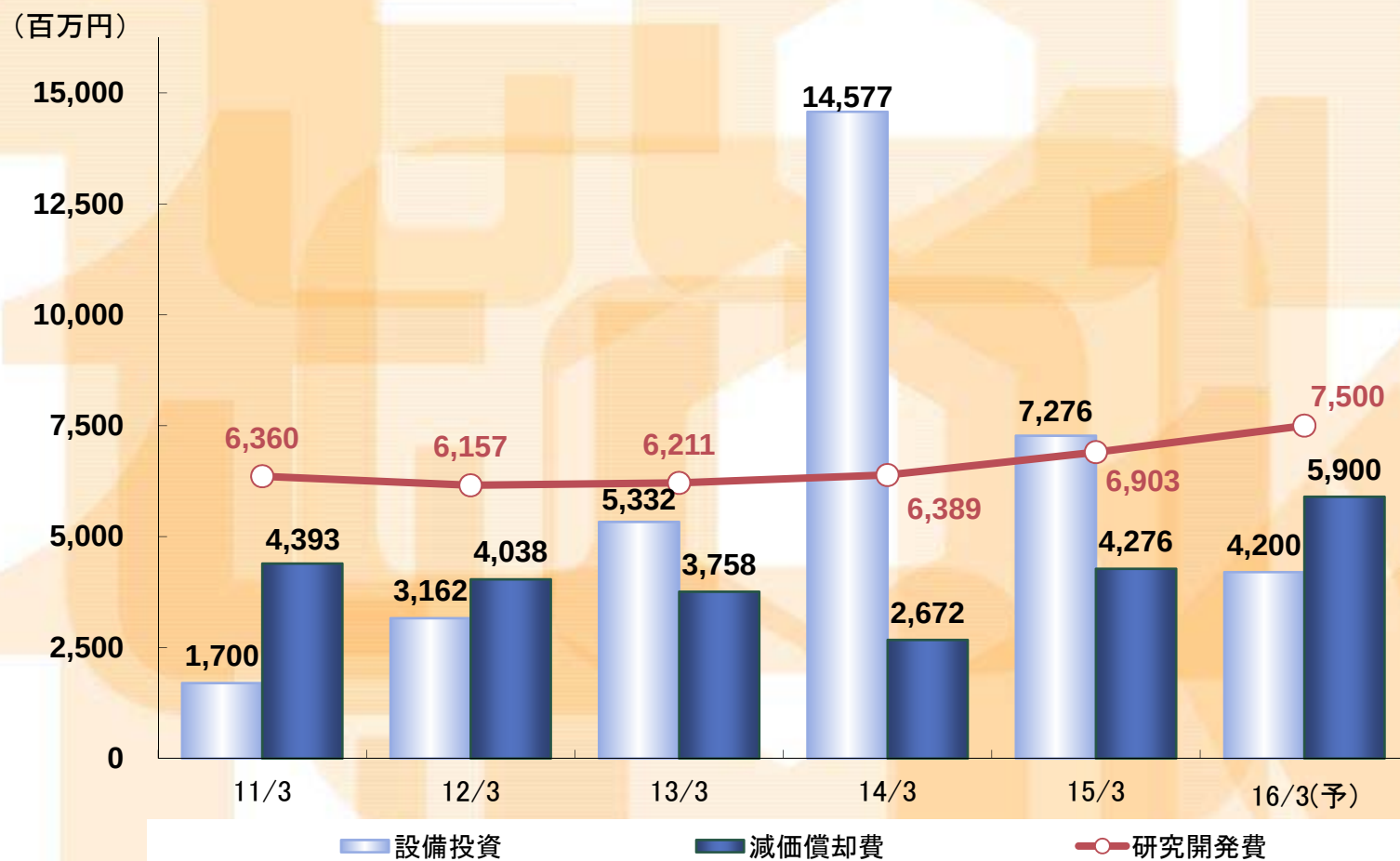
業績予想概要（通期）

（百万円、％）

	2015/3 実績	2016/3予想		
			増減	増減率
売上高	88,086	96,700	+8,613	+9.8
営業利益	13,253	13,300	+46	+0.4
経常利益	14,443	13,800	△643	△4.5
当期純利益	8,818	9,000	+181	+2.1

- 為替前提（USドル）：109.3円／ドル（2015/3）⇒115.0円／ドル（2016/3）
- 売上高：エレクトロニクス機能材料の拡大が増収を牽引、装置事業の増収も見込まれ、前年比+9.8％の増収を予想。
- 営業利益：減価償却費の大幅増はあるが、前年同水準の利益は確保。
- 当期純利益：為替差益、税金費用の減少を見込み、当期純利益の増益を予想。

設備投資・減価償却・研究開発



事業別セグメント業績予想

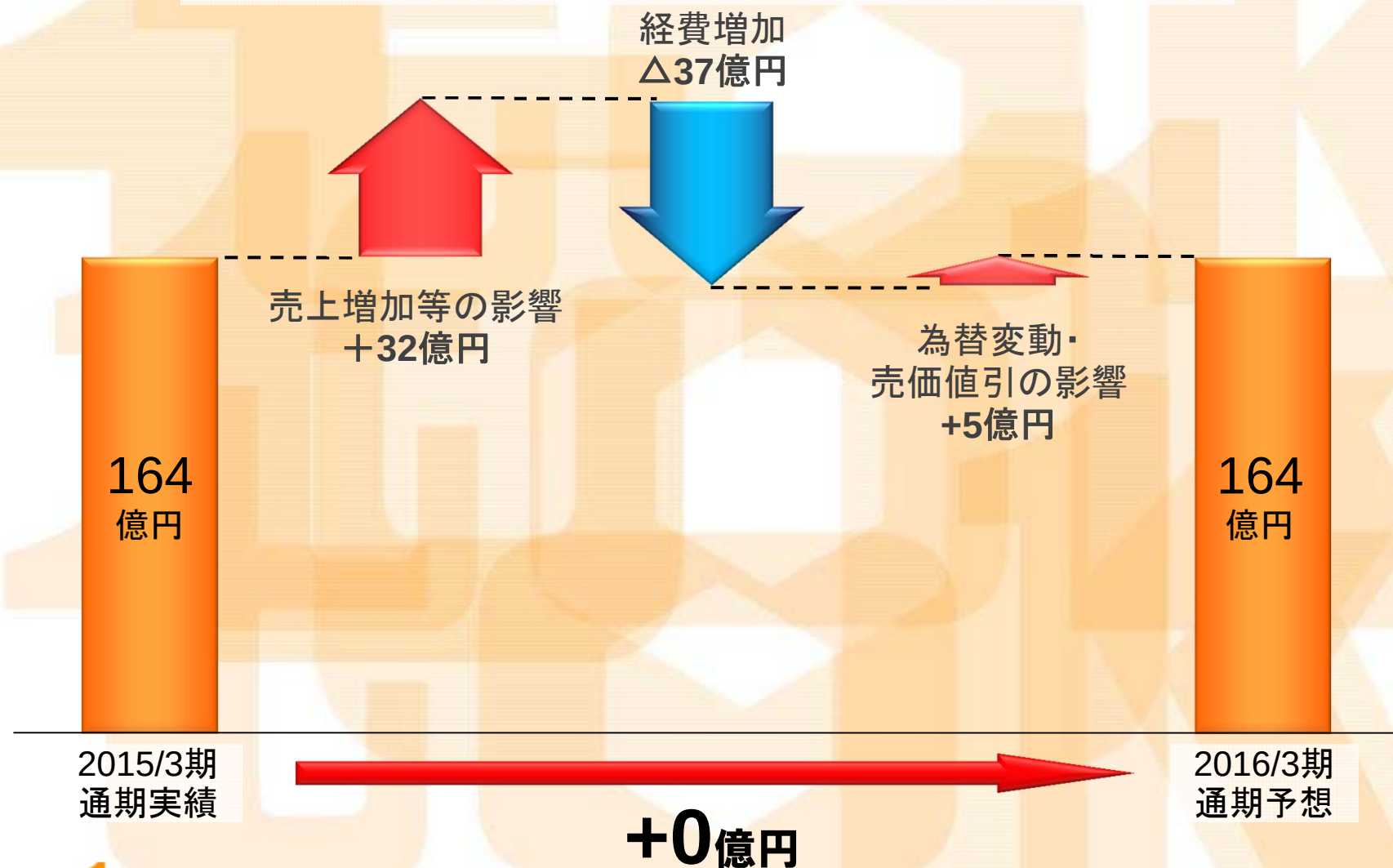
(百万円、%)

		2015/3	2016/3通期予想				
		通期実績		増減	増減率		
売	上	高	88,086	96,700	+8,613	+9.8	
材	料	事	業	84,611	92,300	+7,688	+9.1
	エレクトロニクス機能材料		49,818	54,600	+4,781	+9.6	
	高純度化学薬品		34,844	37,500	+2,655	+7.6	
装	置	事	業	3,475	4,400	+924	+26.6
営	業	利	益	13,253	13,300	+46	+0.4
材	料	事	業	16,355	16,400	+44	+0.3
装	置	事	業	20	200	+179	+887.5
消去又は全社			△3,122	△3,300	△177	—	

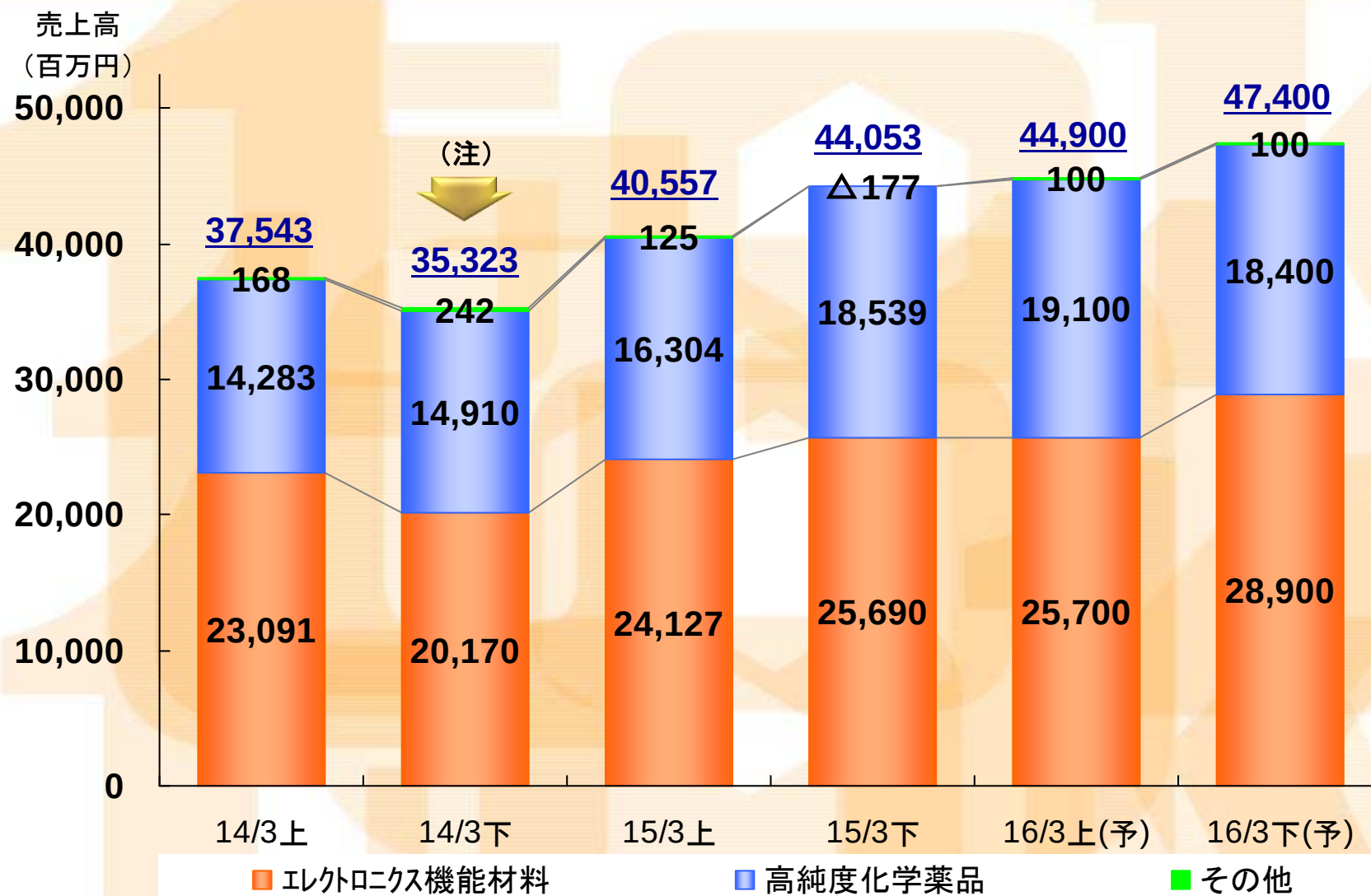
(注) 装置事業の売上は消去後の数字

営業利益の増減内訳（材料事業）

2015年3月期実績 対 2016年3月期予想



材料事業の売上内訳（予想）



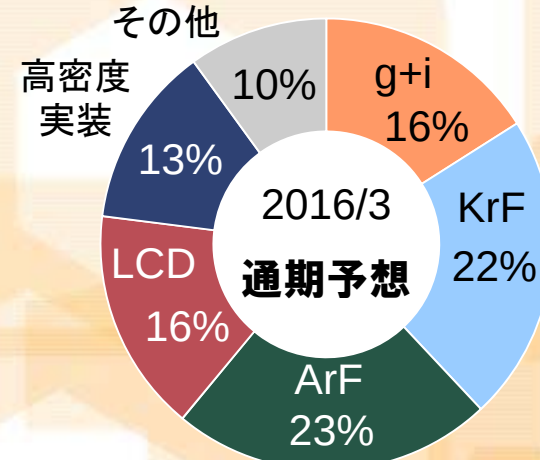
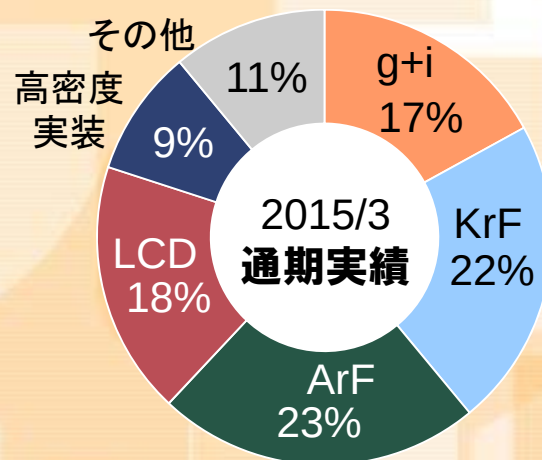
(注) 韓国子会社の営業開始に伴い、販路を一部変更しております。

東京応化工業株式会社と子会社間の決算期の違いから、14/3 下の売上高にマイナスの影響が出ております。

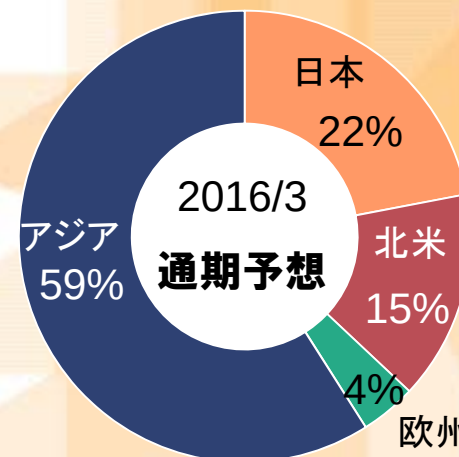
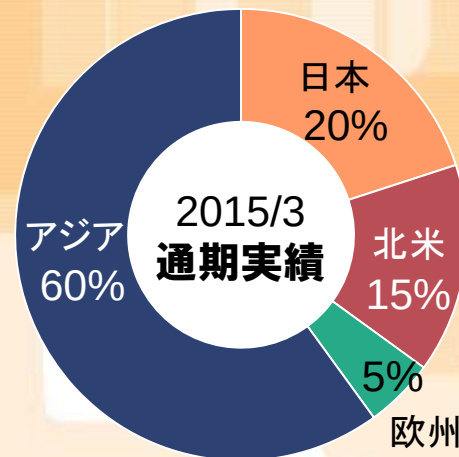
通期予想から上期実績を差し引いて下期予想としています。

（ご参考）エレクトロニクス機能材料部門

エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



半導体フォトレジストの地域別売上構成



tok中期計画2015の取組み

tok中期計画2015概要

■ 経営ビジョン

- 『高付加価値製品による感動を通じて、世界で信頼される企業グループを目指す。』
- 連結営業利益: 200億円(2020年度目標)

■ 経営目標

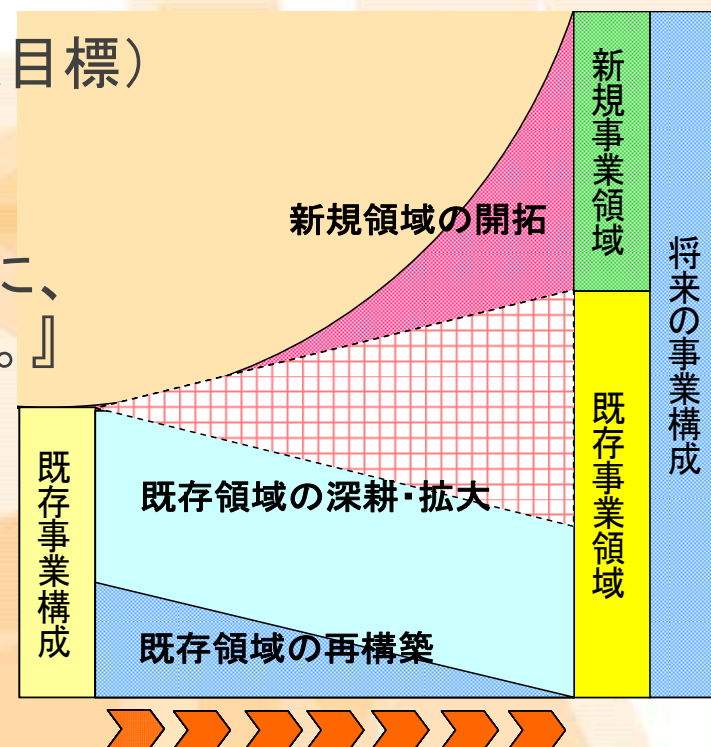
- 『既存領域の深耕・拡大を図ると共に、新規領域の早期立ち上げを目指す。』

■ 数値目標 (2016/3)

- 売上高 : 990億円
- 営業利益: 150億円

■ tok中期計画2015の特徴

- 「過去最高益の更新」「事業基盤の増強」「事業領域拡張」



数値目標に対する進捗（予算ベース）

■ 最終年度(2016/3期)の業績

(百万円)	2013/3 実績	2016/3 予算	2016/3 目標
売上高	72,919	96,700	99,000
材料事業	67,697	92,300	88,000
エレクトロニクス 機能材料	43,116	54,600	62,300
高純度 化学薬品	24,144	37,500	25,500
その他	435	200	200
装置事業	5,222	4,400	11,000
営業利益	7,872	13,300	15,000
材料事業	10,716	16,400	16,800
装置事業	232	200	1,500
消去又は全社	△3,075	△3,300	△3,300
為替(円/米ドル)	81.9	115.0	92.0

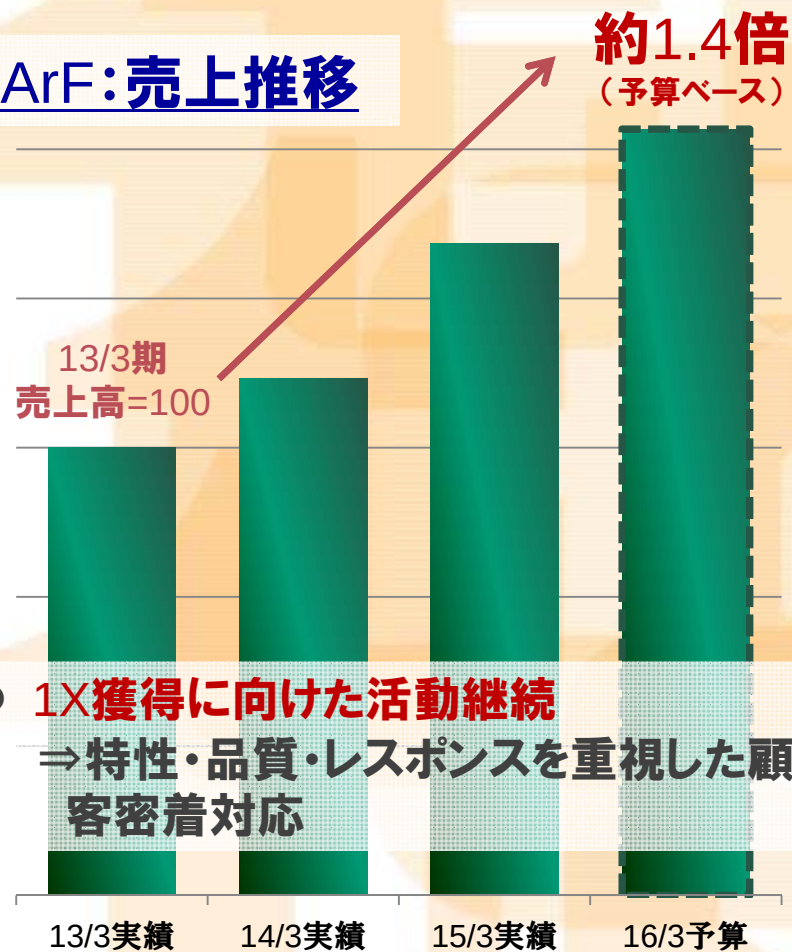
■ 主要製品等の進捗状況



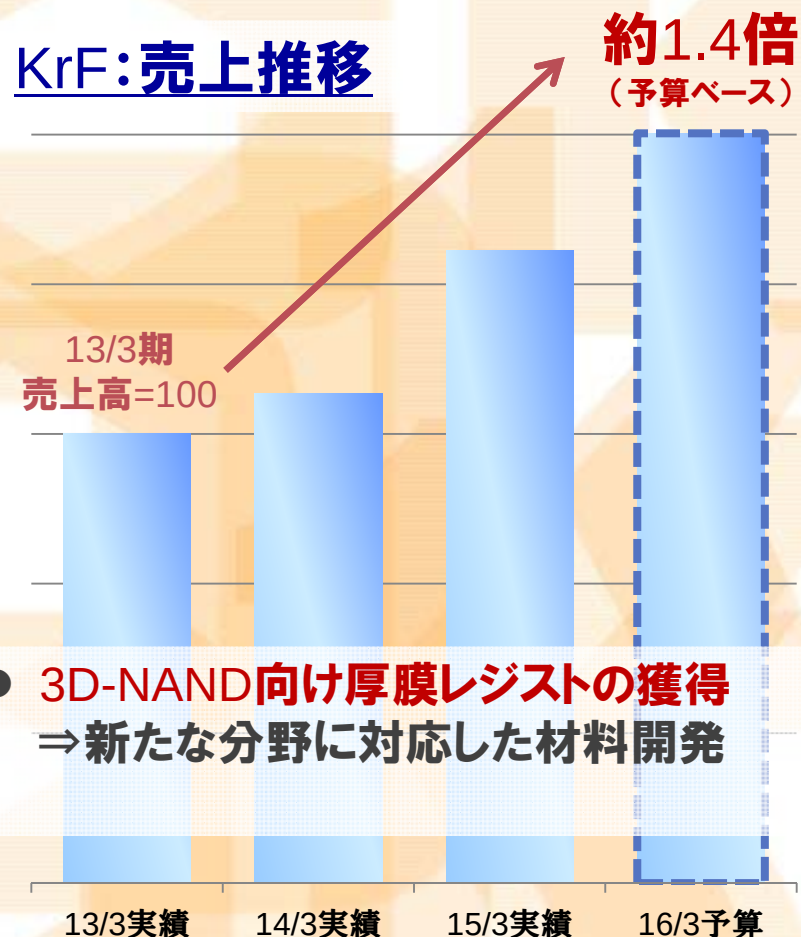
「tok中期計画2015」目標に対する2016/3期予算の水準
(売上ベース)

半導体用フォトレジスト

ArF:売上推移

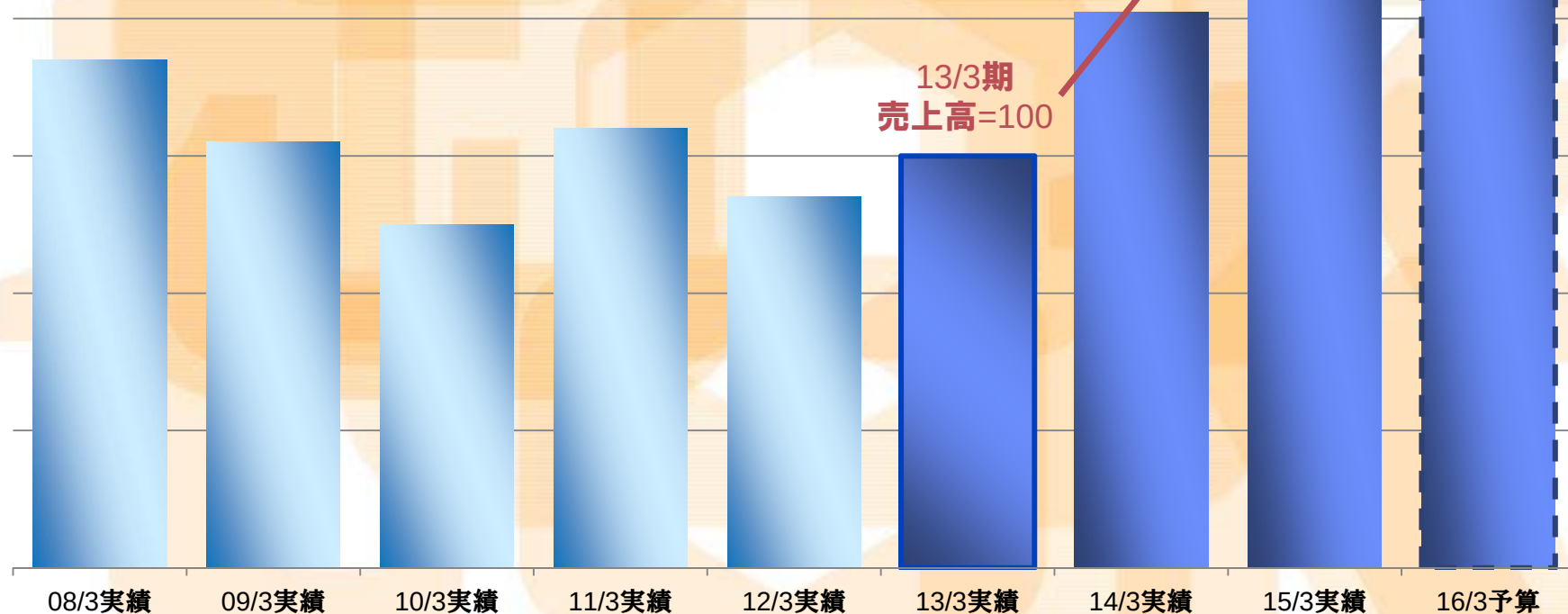


KrF:売上推移



高純度化学薬品

- 半導体の微細化進展
⇒半導体用フォトリソグレイド付属薬品においても、品質のグレードアップニーズの高まり。
- 顧客プロセスに合わせた高品質グレードの開発・拡販による差別化
- 新たな成長市場への対応



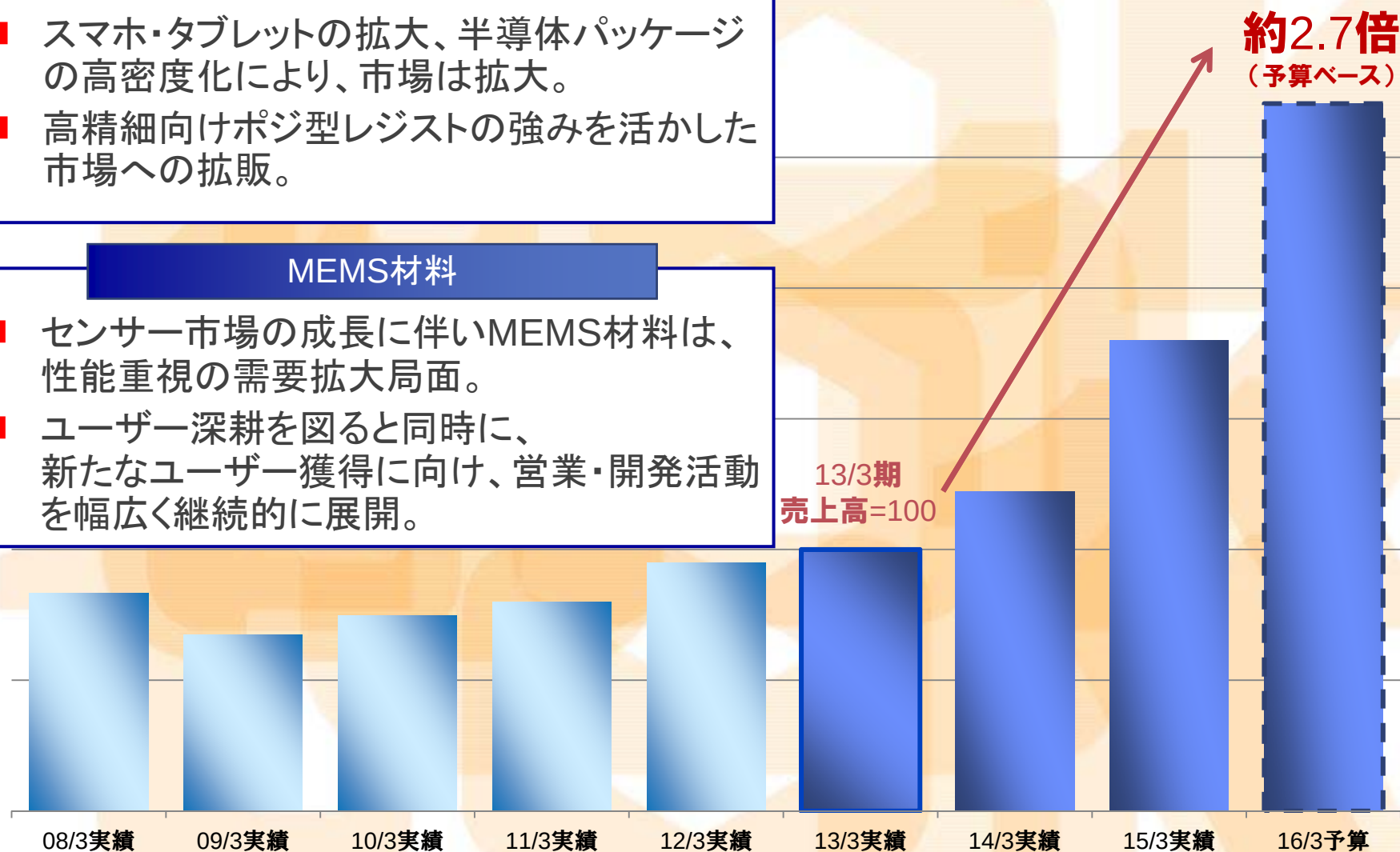
高密度実装材料

先端プロセス実装材料

- スマホ・タブレットの拡大、半導体パッケージの高密度化により、市場は拡大。
- 高精細向けポジ型レジストの強みを活かした市場への拡販。

MEMS材料

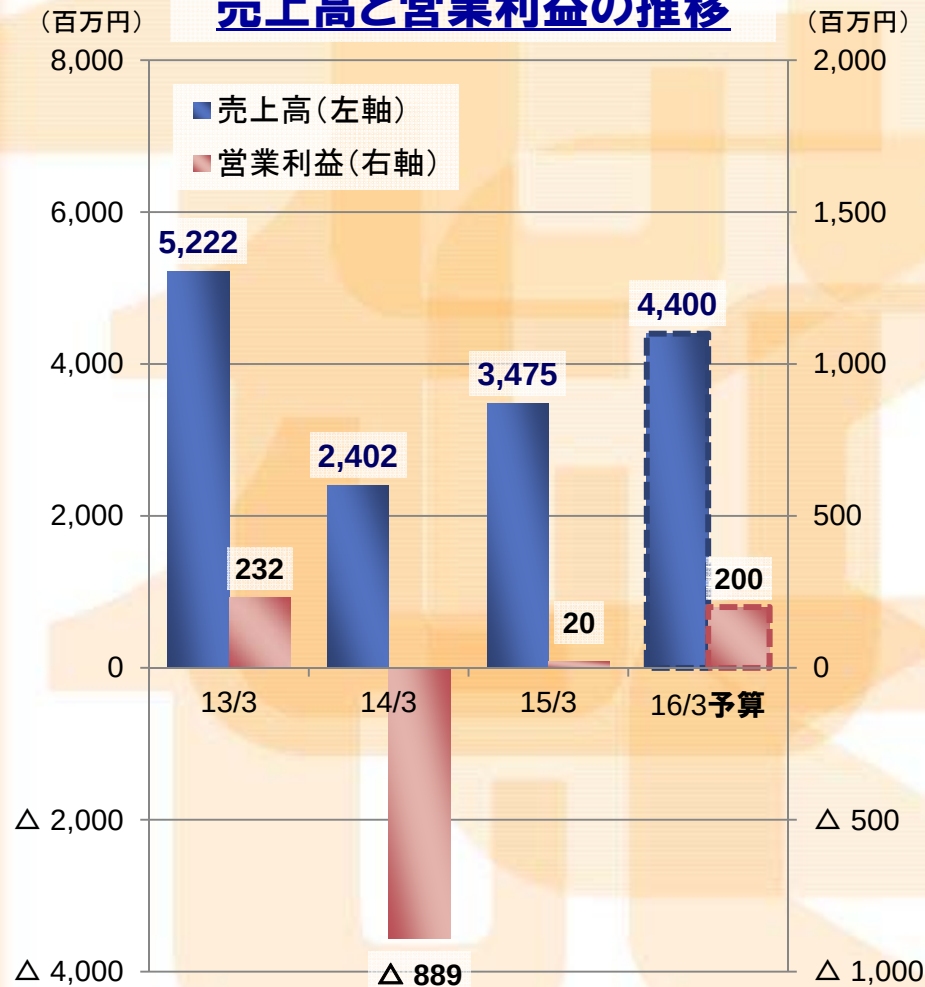
- センサー市場の成長に伴いMEMS材料は、性能重視の需要拡大局面。
- ユーザー深耕を図ると同時に、新たなユーザー獲得に向け、営業・開発活動を幅広く継続的に展開。



装置事業

TSV装置の受注拡大と新製品の拡充、原価低減の推進

売上高と営業利益の推移



TSV装置

- 事業収益及び成長性のコア。
- 既存ユーザーに加え新規ターゲットへのアプローチを強化、顧客基盤を拡大。

UVキュア装置

- TSVに続く収益の柱として強化。
- 中小型LCDパネルをターゲットに受注活動を積極化。

次世代フレキシブルディスプレイ製造装置

- 電子ペーパーやフレキシブル有機EL向けに新規製造装置を開発中。

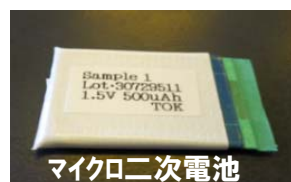
新規事業 / 新規材料

市場開発・研究

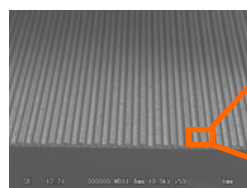
製品開発

ユーザー評価

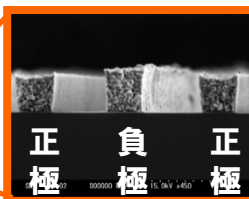
事業化



マイクロ二次電池

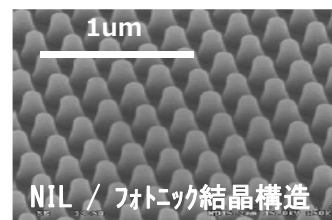


リソグラフィ微細加工による
独自の電極形成技術



リチウムイオン電池材料、
マイクロ二次電池など

蓄電材料分野



NIL / フォトリソグラフィ構造

LEDフォトリソグラフィ構造など

オプトエレクトロニクス分野



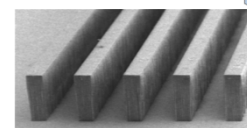
拡散材料：EPLUS®

化合物系太陽電池材料、
Si系太陽電池材料など

再生可能エネルギー分野

- ・シリコンフォトニクス
- ・エネルギーハーベスト
- ・各種センサー向け材料
- ・...

IoT分野



マイクロ流路チップ、
MEMS など

ライフサイエンス分野



ゼロニュートン®

シリコン貫通電極形成システム
半導体製造装置分野

2016/3期の重点戦略

1. 地域密着によるアドバンテージが奏功、 目標に向けて邁進

✓ ArFのシェアアップ、アドバンテージを活かしたビジネスの獲得

2. 次期中計を視野に入れた、 新規事業/有望案件のステージアップ

✓ 新規事業候補の探索強化、事業化に向けた取組みの加速

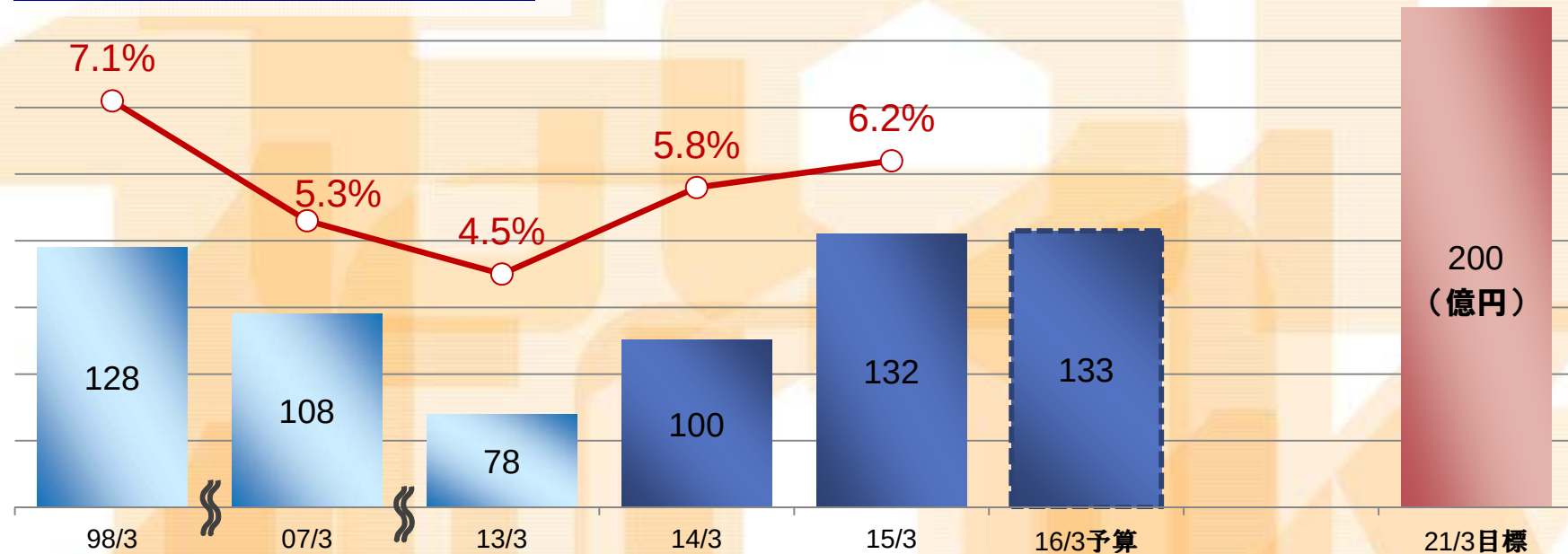
3. 装置事業の収益改善の強化

✓ 成長の追求と安定的に黒字が確保できる事業基盤の構築

資本政策に関して

営業利益・ROE

営業利益とROEの推移



■ 営業利益200億円を稼げる収益構造の構築

- ✓ 新規事業の創出、売上高500億円の実現

■ 企業価値向上のための資本政策の適正な運用

- ✓ 目標ROEの検討
- ✓ 株主還元の更なる充実の検討



事業戦略を踏まえ方針等を策定
次期中計において明確化

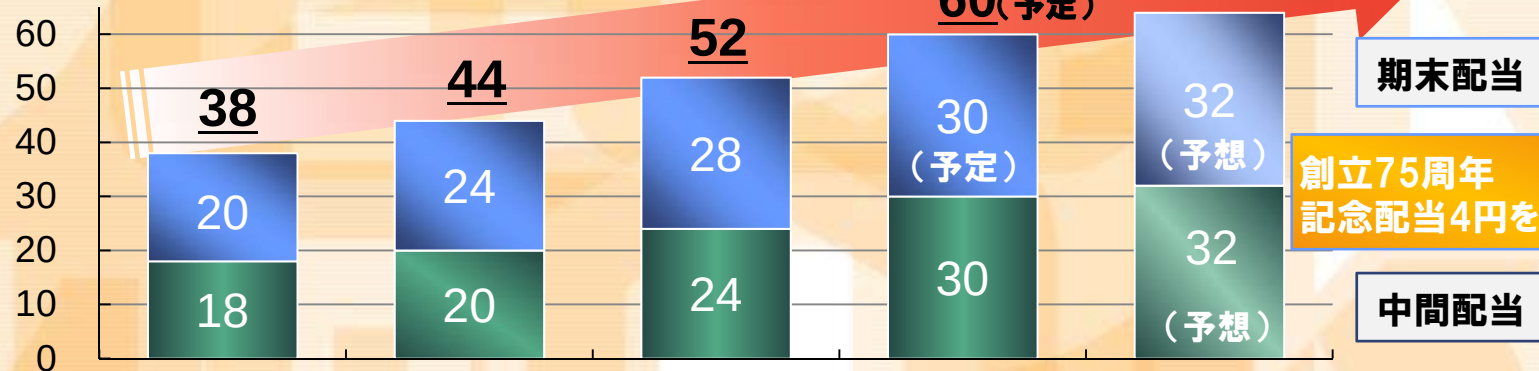
株主還元

株主還元に関する基本方針(ポイント)

- (1) 現在の水準を考慮しつつ連結配当性向30%以上の配当を継続的に実施
- (2) 長期的な視点に立ち、財政状態や業績等を総合的に勘案
- (3) 自己株式の取得は長期的な見地からの株主還元策として弾力的に実施

株主還元①:配当

1株当たり配当金(円)



	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3 予想
連結EPS	84.86円	121.69円	168.54円	196.61円	200.56円
配当性向	44.8%	36.2%	30.9%	30.5%	31.9%

株主還元②:自己株式の取得等

自己株式の取得

取得株式総数：175万株（上限）/株式取得価額の総額：70億円（上限）
 発行済株式総数（2015年3月31日現在の自己株式を除く）に対する割合：3.89%
 取得期間：2015年5月11日より2015年9月10日まで

自己株式の消却

消却する株式数：150万株（発行済み株式総数に対する割合3.22%）
 消却予定日：2015年9月16日



<http://www.tok.co.jp/>

（ご注意）

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります、いかなる確約や保証を行うものではありません。